

## 令和元年度「静岡県内各県人会協議会」総会&懇親会のご報告

本会が発足して今年が3年目となる令和元年度の「静岡県内各県人会協議会」の総会が、去る6月22日に中島屋グランドホテルで開催されました。当日は、福井、石川、新潟の各県人会からの代表と、福岡県人からも代表がオブザーバーとして参加され、総勢25名での開会となりました。会場内には、昨年好評だった各県の特産品の販売が今回も行われ、それぞれ故郷のご自慢の



品、福井県からは羽二重餅、鯖すし、水羊かん、お酒などが、テーブル一杯に並べられました。第一部の総会は、定刻12時より本協議会の濱田副会長(石川)の開会の辞で開始され、同氏の司会で進行されました。先ず武長会長(福井)が挨拶に立ち、冒頭で数日前に新潟県北部沖を震源地とした大きな地震が発生したが、幸いにも被害が最小限であったこと、又昨日朝のニュースで福井県が県民衛星を開発中である様子が報道されたこと、などのあと平成30年度の活動も、皆さまのご支援で計画通り進められたこと、更に本年5月から令和の新時代に入り、会長以下新しいスタッフでスタートすることになる、などが話された。その後、議案審議に入り、本日3議案が上程され、まず最初に平成30年度の事業報告及び収支報告と監査報告がなされ、全員の拍手で承認されました。第2議案の役員の変更に入り、会長の選定は規約に則り、去る2月の役員会に於いて新潟県人会副会長の高橋栄氏に就任願うことが全員一致で決定しておりましたので、本日はその発表と引き継ぎとなり、新旧両会長が壇上で固く握手を交わしたあと、新会長が役員スタッフを発表され、その後に挨拶に立ち前会長が築いてきた道筋を踏まえ、令和の新時代に向けてより一層この会を盛り上げていきたいとの挨拶がありました。次に第3議案として、令和元年度の事業計画及び収支予算などの案件が、担当者から説明があり、それら全てが全員一致の賛成で承認されたあと恒例の写真撮影で第一部の総会が終了となりました。暫時休憩のあと、第二部の懇親会に入り。最初に高橋新会長より改めて決意の挨拶があり、続いて福岡県人会の石井氏より挨拶が、そして静岡県の川勝知事からのお祝いのメッセージが司会者より披露されました。そのあと松谷新潟県人会会長の乾杯の音頭で開宴となり、会食、歓談が始まり途中で本日出席者の紹介などもありました。この会も3回目となり皆さんもすっかり顔なじみで打ち解けて和やかに、楽しく歓談している様子がうかがえました。故郷の特産品販売も完売となり、最後は新潟県人会の神田さんの三本締めで閉会となりました。

以上

— 幹事 内田文江 記 —

## 岐阜福井県人会の役員の方々との交歓会に出席して

岐阜福井県人会の三田新会長と藤井前会長から、予てより岐阜と静岡の両福井県人会の役員が一堂に集まり、岐阜を会場にして交歓会を開催したいのですが如何ですか？とのご提案があり、私共としてそれに賛意をお伝えしておりました。その後、日程や会場などが決まりましたら…と正式な案内状が私共に届けられました。その日程が6月15日(土)でしたので、当日私共県人会からは役員と会員代表として3名。私、武長と飯田元会長と小林事務局長が出席しました。岐阜からは、三田新会長はじめ9名が出席されました。

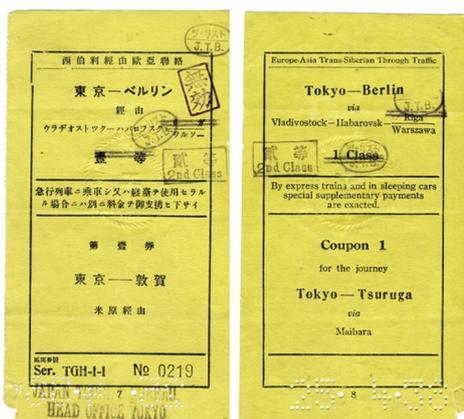


当日は生憎の雨模様でしたが、指定されたホテルへ夕方着きますと早速の歓迎を受けました。お互いに久しぶりの再会でそれぞれ挨拶を交わしたあと宴会場へと案内され開宴となりました。先ず三田新会長のご挨拶があり、私からも静岡県人会を代表して今回このような交歓会を設けてくださったことに対してのお礼と今後共両県人会が更に交流を深め合ってまいりたい…旨を述べたあと、藤井前会長の乾杯の発声で会食、歓談となり出席者それぞれの自己紹介もありましたが、会場内の皆さんが同郷の人達ですので、何とも言えない親近感と温かな人情味が感じられ、和やかなムードに包まれ笑いが絶えまなく聞こえ、まるで私共福井の県人会の会合の時と同じような雰囲気を感じました。

楽しい歓談が一段落したところで場所をカラオケ会場へと移動し、ここでは皆さんそれぞれが自慢のノドを披露されることになり、これ又楽しい愉快なひと時となりました。時間と共に歌う曲もだんだんと出尽くしてきたような感じと、そろそろお疲れの様子も見られ、ここで全てお開きとなりました。

今回の交歓会は本当に楽しい有意義な企画であったと思います。役員相互の交流を今後共継続することは、とても意義があり大切なことと思いました。岐阜の役員の方々には今回大変お世話になり誠に有難うございました。感謝

— 出席者代表 武長 記 —



(次ページ)

敦賀港経由で東京と欧州を結んだ「欧亜国際連絡列車」の東京発ベルリン行き切符。片面は日本語(左)、もう片面は英語表記となっている

## 今日の敦賀港の礎を築いた人物・・・大和田壮七

江戸時代に北前船貿易で栄えた敦賀港。明治から昭和にかけて国内では次々と近代化が進み、敦賀港でも物流量や旅客が大幅に増加し、その周辺には船荷問屋や旅館などが立ち並んでいった。その当時、港の規模拡大や新航路開拓に情熱を傾けたのが実業家、二代目の大和田壮七だった。海外貿易に将来性を見いだした先見の明と郷土愛が、今日の港の礎を築いた。



壮七は1857（安政4）年、現在の相生町で薬種商を営む山本九郎左衛門の次男、亀次郎として生まれた。明治5年亀次郎が15歳になった時に学校制度が導入され、小学校に入ると才能が開花し、頭脳がずば抜けて良く特に数字に強かった。当時大和田本家から分家して船荷問屋を営んでいた初代大和田壮七が亀次郎を見定め、21歳の時に養子にした。亀次郎は商売に全力を挙げた。31歳の若さで壮七の名を受け継ぐことになる。

明治17年には敦賀（金ヶ崎）一長浜間に鉄道が開通したことによって敦賀港の交易が大幅に伸びた。世間が好景気に沸く中、壮七は次に海外との交易の道を探り始めた。敦賀港を日本海側の貿易拠点にする為には、国からの「開港場」の指定を受ける必要があった。その準備に奔走する傍ら壮七は、私財も投入して明治25年、現在の蓬萊町に個人銀行、大和田銀行を設立したりして、国に働きかけた。それらの活動が実を結んで明治32年7月、政府は増え続ける外国貿易に対応する為、敦賀港など全国22の港を開港場に指定した。その年、鉄道も敦賀一長浜間が富山まで伸びた。すると輸送路は海上から陸上へと移った為には敦賀港の存在感が薄れていった。その頃政府は国の将来を見据えて海外交易を盛んにさせる為、先ずロシアとの交易を進めた結果、明治35年、ロシアのシベリア鉄道の終点、ウラジオストックと敦賀を結ぶ航路が開かれたのだ。敦賀港は新たな飛躍のときを迎えた。貿易額も驚異的に伸び、日本有数の国際港としての地位を固めた。必然的に岸壁や港湾整備の工事も進められ一気に近代化し、現在の港につながる土台を整えた。

ウラジオストック直通航路とシベリア鉄道の完成で、ヨーロッパへの最短路の玄関口となった為、人や物だけでなく文化も敦賀港を介して出入りし、日本とヨーロッパのつながりを強めた。明治45年に、「欧亜国際連絡列車」の運行が始まった。東京からの列車が敦賀港でウラジオストック行きの定期船に連絡し、モスクワまではシベリア横断列車で走った。東京-ロンドンが15日間と、従来の半分になったことで、多くの著名人、シルクハットの紳士や豪華なドレス姿の婦人が敦賀港に降り立ち、異国情緒にあふれ、鉄道と港のまち、敦賀の名が世界に知られるようになった。（※昭和初期の東京発ベルリン行きの切符が全ページに）

敦賀を物流の一大拠点にする為壮七は、明治25年に設立した大和田銀行で地元経済、中小零細企業の発展を促すようになるべく低い利息で貸し出し商業を支援することにした為、商人の支持を得て業績を伸ばし続けた。一時は県内外に17支店を持つことになったが、昭和20年に大蔵省が進めた「一県一行主義」により大部分を三和銀行に吸収され、一部支店は福井銀行に譲渡された。時に私財をなげうち港の繁栄に尽くす姿に「築港狂」とのあだ名がついた壮七であったが、昭和22年、90歳でこの世を去った。

大和田本家の子孫には、現在俳優として活躍中の大和田伸也、獭さんがいる。

## つながる北陸新幹線 県内4駅の内装公表

### 《芦原温泉駅》

外観が旅館の風情漂うデザインの為、コンコースは上向きに突き上げる「折り上げ天井」で圧迫感を解消し、間接照明を施して旅館内の温かい雰囲気イメージ。ホームの待合室に木調の日よけを設け、温泉街らしさを感じられるようにした。



### 《福井駅》

コンコースは天井の一部に県産木材を使ったほか、床の一部に福井市産の笏谷石を用いるなど、格調高い重厚な和の空間を演出した。外観が一乗谷朝倉遺跡の唐門をモチーフとした木調のデザインとあって、ホームの天井と床も木調にした。



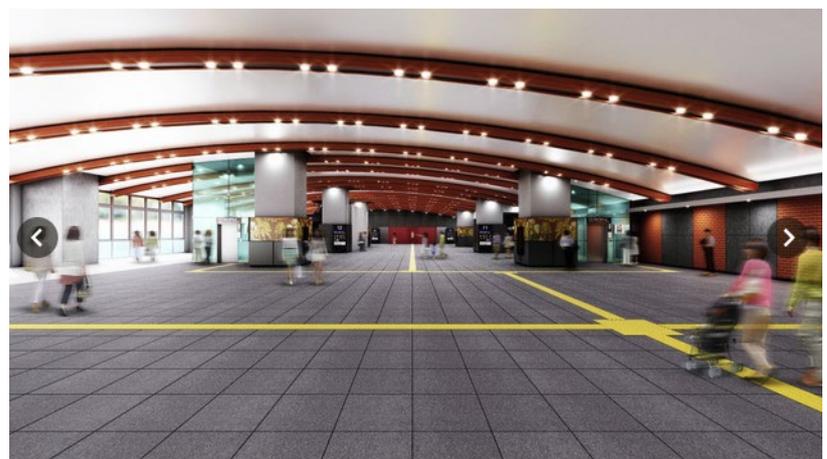
### 《南越（仮称）駅》

コンコースの天井が越前和紙の技法「流し漉き」の動きを取り入れたデザインで、内壁に越前和紙や越前指物を使うなど地元の伝統工芸品を前面に押し出した。ホームは、コウノトリをモチーフにした外観との統一感を持たせる為モノトーンにした。



### 《敦賀駅》

コンコースは天井部分を北前船の帆を想像させるデザインとし、スケール感の大きさを醸し出すように設計した。港町らしく敦賀湾の波のきらめきを表現した外観に合わせ、ホームには船の甲板を思わせる木調タイルを敷き詰めた。



## 1. 今後の行事のお知らせ

イ) 9月7日(土)に藤枝郊外の会場(もうもう BBQ:藤枝市潮663)でバーベキュー会を行います。

集合場所・時間 : JR西焼津駅に10:30集合(駅からタクシーで会場まで移動)  
会費 : 4,000円程度(交通費は別途)

他県人会の方と合同でのバーベキュー会となります。ご家族、知人、友人とご一緒での参加も歓迎です。雨天の場合でも決行しますので、大勢の参加をお願いします。

ロ) 10月20日(日)に貸し切りバスでの横浜旅行を計画しております。

他県人会の方との合同でのバス旅行となります。行先は横浜みなとみらい、中華街など。参加人数は20名程度です。ご家族、知人、友人とご一緒での参加も歓迎です。

上記イ)、ロ)に参加希望の方は、以下の役員に電話連絡をお願いします。

(武長:090-3442-7782、小林:090-1741-8053、内田:090-4799-3266)

## 2. 年会費納入者のご報告

下記の方々には4月20日開催の総会当日その他で納入いただいております。この会報掲載をもって領収書に代えさせていただきます。ありがとうございました。

谷田昭夫	飯田昭夫	玉木重典	武長敏彦	小林健	中村正明
山下光男	内田文江	吉川隆司	米野正則	佐々木修	井村幸広
島津保	中井弘和	岩本次峰	関俊幸	嶋田麗子	南弘
窪田直和	三宅明	岡崎登貴雄	加藤正嗣	北川達	

(敬称は省略します。)

## 3. 年会費未納者に

年会費(3,000円)未納の方は、至急納入して頂きますよう宜しくお願い致します。

【振込先口座】

静岡銀行 東静岡支店 (普通) 口座番号 0080780  
静岡福井県人会 会長 武長敏彦